

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

フェリーでつながる宮古・室蘭地域交流促進事業

2 地域再生計画の作成主体の名称

宮古市

3 地域再生計画の区域

宮古市の全域

4 地域再生計画の目標

4-1 地域の概要

宮古市は、岩手県沿岸部のほぼ中央、本州最東端に位置している。東には太平洋を、西には北上山地を仰ぎ、市の西側は県都盛岡市と隣接し、南側は花巻市・遠野市・山田町に、北側は岩泉町に接している。

平成17年6月6日、宮古市・田老町・新里村の合併により誕生し、平成22年1月1日には、川井村が加わった。

現在の人口は約5万5千人、面積は1,260平方キロメートルで岩手県の総面積の約8.2%を占めている。

海岸部には名勝・浄土ヶ浜を有する「三陸復興国立公園」があり、山間部には高山植物の宝庫として名高い北上山地の最高峰・早池峰山を中心とした「早池峰国立公園」がある。

4-2 地域の現状と課題

平成30年6月に岩手県として初の宮古市・室蘭市間のフェリー航路開設が予定されており、北海道・東北間の経済活性化や交流促進に大きな効果が期待されている。

平成28年6月に国、県、近隣自治体、商工団体、農林水産団体、金融機関、観光協会、交通業者、輸送業者等を構成主体とする「宮古港フェリー利用促進協議会」を設置し、フェリー航路開設の周知や観光物産PR、市民交流事業などに取り組んでいるが、フェリー就航と同時に効果を最大限享受し、持続、発展させていくため、更に航路PRによる取扱貨物の増加や両市企業間の新たな取引、事業展開による「もの」の流れをつくり、また観光資源の情報発信や市民間の交流事業により「ひと」の流れをつくる必要がある。

4-3 目標

フェリー就航前後において、官民が連携して積極的に相互交流や航路周知等の取り組みを行い、本航路が安定的、継続的なものとなるよう、フェリー利用者の増加を図ることを目的とするものである。

【数値目標】

事業	フェリーでつながる宮古・室蘭地域交流促進事業	年月
K P I	観光入込客数（年間）	
申請時	1 2 2 万人	H28. 3
初年度	1 2 8 万人	H30. 3
2年目	1 3 0 万人	H31. 3
3年目	1 3 1 万人	H32. 3

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

フェリー就航後の航路活用を促進するため、フェリー利用者の増加を目的とし、市民交流事業やフェリー航路周知事業、物流促進事業、観光物産PR事業、異業種交流事業を実施する。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）【A2007】

(1) 事業名：フェリーでつながる宮古・室蘭地域交流事業
(宮古・室蘭市民交流事業)

(2) 事業区分：観光業の振興

(3) 事業の目的・内容

(目的)

平成30年6月に岩手県として初の宮古市・室蘭市間のフェリー航路開設が予定されており、物流促進、観光振興、市民交流など北海道・東北間の経済活性化や交流促進に大きな効果が期待される。

フェリー就航後の航路活用を促進するため、フェリー利用者の増加を目的とし市民交流等の取り組みを行う。

(内容)

・宮古・室蘭市民交流事業

宮古市及び関係機関で組織する「宮古港フェリー利用促進協議会」により、ヨット等のスポーツによる交流事業の実施、南部藩や埋蔵文化財など歴史における両市の繋がりをさぐる講演会の開催など、スポーツや歴史文化を活かした市民レベルの交流を行い、フェリー航路就航後の航路活用を促進する。

→各年度の事業の内容

宮古・室蘭市民交流事業

初年度) スポーツを通じた宮古・室蘭両地域の交流事業や、先史からの繋がりがみられる両地域の歴史文化的な交流事業をそれぞれ年1回実施し、市民レベルの交流を支援する。

2年目) 引き続き、スポーツや歴史文化的な交流事業などの実施による市民レベルの交流を支援する。

3年目) 引き続き、スポーツや歴史文化的な交流事業などの実施による市民レベルの交流を支援する。

(4) 地方版総合戦略における位置付け

本市総合戦略の基本目標「地域の魅力向上を図り、より快適で豊かに暮らせる環境をつくる」において、基本的方向のひとつとして「交流人口の拡大戦略」を示している。

この中で、「ひと」や「もの」の交流拡大を図り、また、開設予定のフェリー航路を活用するなど地域の活性化に向けて、地域の個性や魅力を高めながら他地域との連携、交流を推進することとしている。

また、KPIとして年間の観光入込客数（現状125万人→H31 131万人）を定めており、本事業はこの目標の達成に寄与するものである。

(5) 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

事業	フェリーでつながる宮古・室蘭地域交流促進事業	年月
KPI	観光入込客数（年間）	
申請時	122万人	H28.3
初年度	128万人	H30.3
2年目	130万人	H31.3
3年目	131万人	H32.3

(6) 事業費

(単位:千円)

	年度	H29	H30	H31	計
	事業費計		1,500	1,500	1,500
区分	負担金、補助 及び交付金	1,500	1,500	1,500	4,500

(7) 申請時点での寄附の見込み

年度	H29	H30	H31	計
法人名	海運業	海運業	海運業	
見込み額 (千円)	100	100	100	300

(8) 事業の評価の方法 (PDCA サイクル)

(効果検証の方法)

本計画で定めた目標の達成状況については、外部有識者と市民で構成する「宮古市まち・ひと・しごと創生総合戦略市民推進委員会」及び市長を本部長とする「宮古市まち・ひと・しごと創生本部」において評価を行う。

併せて、目標達成に向けて必要な計画の見直し等を行う。

(効果検証の時期・内容)

毎年度10月に「宮古市まち・ひと・しごと創生総合戦略市民推進委員会」による効果検証を行い、次年度以降の取組方針を決定する。

(公表の方法)

目標の達成状況については、検証後速やかに宮古市ホームページ等に掲載して公表する。

(9) 事業期間 平成29年4月～平成32年3月

5-3 その他の事業

5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし

5-3-2 支援措置によらない独自の取組

(1) フェリー航路周知事業

事業概要:セミナーの開催やイベントでのPR等により、フェリー航路

の周知活動を行う。

実施主体：宮古港フェリー利用促進協議会

事業期間：平成 29 年度～平成 31 年度

(2) 宮古・室蘭物流促進事業

事業概要：フェリーによる物流を促進するため、企業訪問等によるポートセールス等を行う。

実施主体：宮古港フェリー利用促進協議会

事業期間：平成 29 年度～平成 31 年度

(3) 宮古・室蘭観光物産 P R 事業

事業概要：室蘭市で開催されるイベント等で宮古地域（岩手県）の観光、物産の P R を行う。

実施主体：宮古港フェリー利用促進協議会

事業期間：平成 29 年度～平成 31 年度

(4) 宮古・室蘭異業種交流事業

事業概要：新たな取引や事業展開による産業活性化を図るため、宮古地域と室蘭地域の事業者間の交流事業を開催する。

実施主体：宮古港フェリー利用促進協議会

事業期間：平成 29 年度～平成 31 年度

6 計画期間

地域再生計画認定の日から平成 32 年 3 月 31 日

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

7-1 目標の達成状況にかかる評価の手法

本計画で定めた目標の達成状況については、外部有識者と市民で構成する「宮古市まち・ひと・しごと創生総合戦略市民推進委員会」及び市長を本部長とする「宮古市まち・ひと・しごと創生本部」において評価を行う。

併せて、目標達成に向けて必要な計画の見直し等を行う。

7-2 目標の達成状況にかかる評価の時期及び評価を行う内容

毎年度 10 月に「宮古市まち・ひと・しごと創生総合戦略市民推進委員会」による効果検証を行い、次年度以降の取組方針を決定する。

7-3 目標の達成状況にかかる評価の公表の手法

目標の達成状況については、検証後速やかに宮古市ホームページ等に掲載して公表する。